

すずらん

「りんどう」の栽培に

挑戦します

理事長 岡田 壽

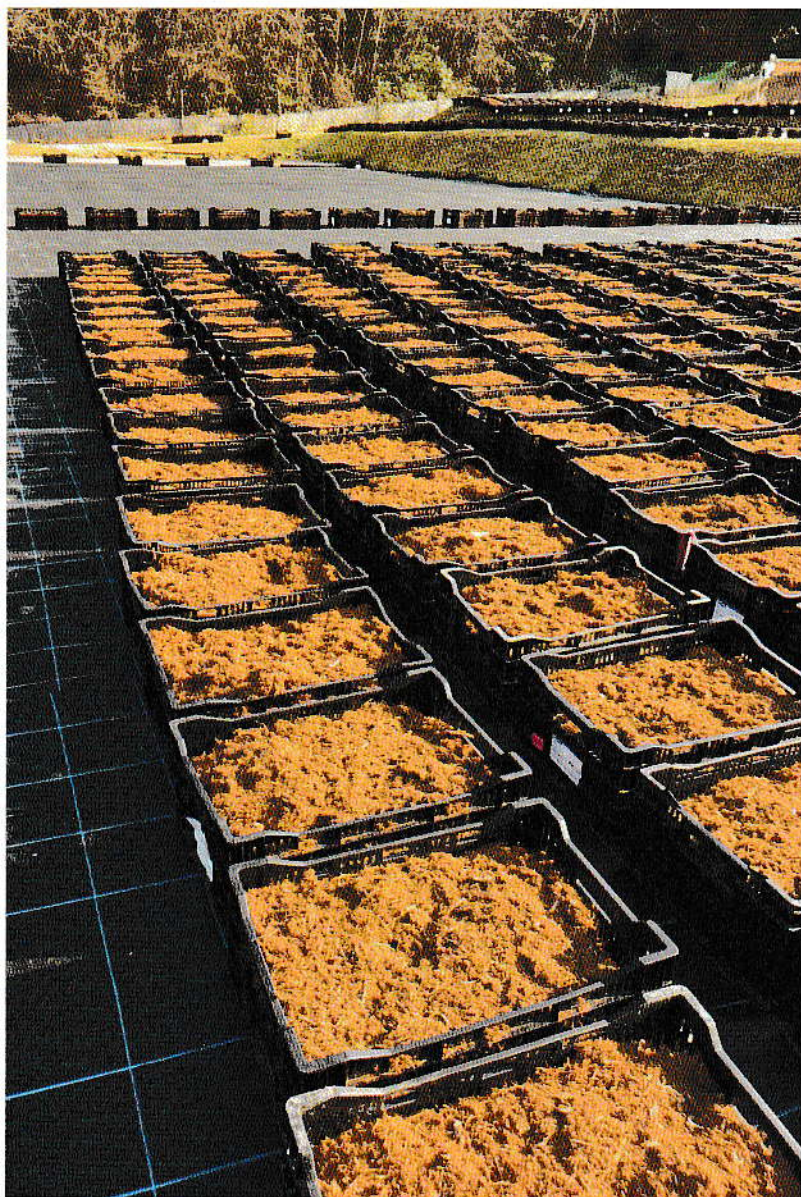
健康の森学園では、従来から阿新地域の伝統産業である和牛の飼育、炭や薪の生産、地域の特産品ともいえるしいたけの栽培などの活動をおして利用者の職業訓練を進めるとともに、生産した農作物を仲立ちにして地域の方々の交流を図ってきました。数年前から哲西栗の栽培も始めております。これらの取組は、近年注目されるようになって

た農福連携にも通じるものと思っております。
昨年の夏、新見市のりんどうが伊原木知事に贈られたことが報道されました。調べてみると、岡山県では、県北部を中心にりんどうの栽培が広がっており、現在は西日本一の生産県とのことです。中でも新見市は、県の栽培面積の四割を占め、八十万本を出荷する県下最大の産地となっております。新たに栽培を始める農業者も出てきているそうです。

りんどう栽培は、夏涼しい気候に適しており、露地での栽培、四〜五年は植え替え不要、品種の組み合わせで六月から十一月までの収穫可能などの特性があり、本学園の農産園芸班にとって魅力のある園芸作物です。さらには、近所に地域のりんどう栽培のリーダーとして精力的に活動されている方がいて、指導・支援をいただけるという環境もあり、導入を決定しました。

当面は、粉碎樹皮培地を使ったコンテナ栽培により、四千株の植え付けを行い、二年後には、二万本程度の出荷を目指して作業を進めています。地元農協の花弁部会にも入らせていただき、利用者と職員が一緒に勉強しながら、美しいりんどうの花を咲かせることを目指して新たな挑戦を始めています。

5月の定植に向け、りんどう栽培の準備をする園場



歯磨き指導



11月15日、阿新医療生協歯科の先生方に来ていただいて、歯科検診と歯磨き指導を行いました。検診後に歯に色を着けて、鏡を見ながらしっかりと磨くことができました。正しい歯の磨き方も指導していただき、個々にあった磨き方を学ぶことができました。



マラソン大会

12月1日第27回岡山県健康の森学園マラソン大会を開催しました。当日は、学園生・保護者と市内の諸団体に参加して頂き、総勢118名が各コースに分かれて走りました。少し風がありました。天気も良くマラソン日和となり、選手の皆さんは額に汗をかき、ゴールを目指しました。競技終了後は、昼食会で美味しいお弁当と豚汁を食べ、参加者同士交流を深めていました。参加して頂きました皆さん、本当にありがとうございました。



宿泊学習



11月21・22日の一泊二日で神戸・淡路島方面に宿泊学習へ出かけました。初日はグリコピアを見学し、ポッキーやプリッツの製造工程を見学しました。その後、淡路島の淡路インターナショナルホテル・サンブラザに宿泊し、美味しい料理をいただきました。二日目は、淡路ワールドパーク ONOKORO でミニチュアの世界の建築物を見たり、メリーゴーランドなどに乗りました。その後イオンモール神戸北で昼食や買い物を楽しみました。皆さん、日頃の作業疲れをリフレッシュすることができました。

クリスマス会



12月26日クリスマス会を行いました。音楽・演劇サークルの歌や個人の出し物で漫才・ダンスなど披露し盛り上がりました。お弁当やケーキ、お菓子など豪華な食事をみんなで楽しく頂きました。最後は、真鍋施設長サンタとじゃんけんを行い、勝った人から順番にプレゼントを選んでいました。



成人式



平成30年1月6日、成人式が行われ、新成人4名が来賓、利用者・職員などにお祝いを代表して佐久間桃花さんが「夢や希望に向かって出来る事を増やしていきたい。社会のために役に立てるように努力していきます。」と誓いの言葉を述べました。そして、植木保護者会長から記念品が贈られ、大人の仲間入りに決意を新たにしました。

子牛出荷

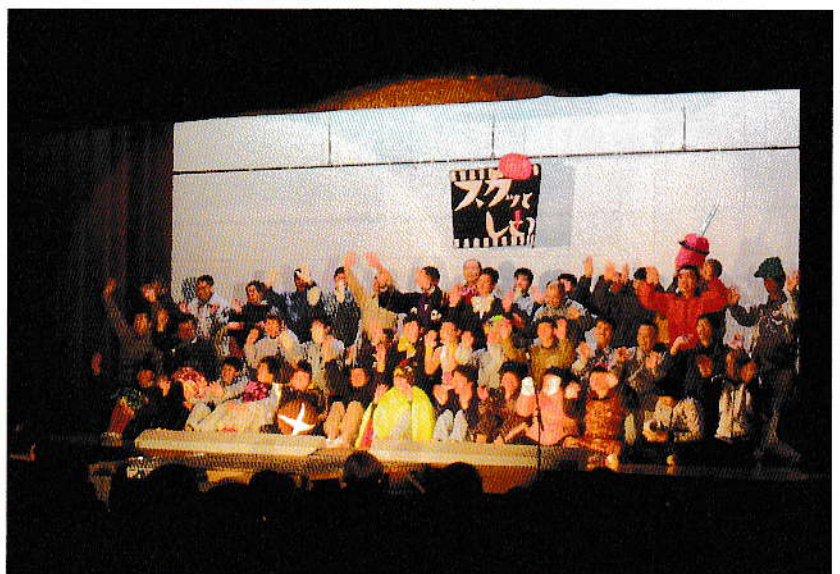


1月19日
子牛のセリが真庭市の岡山県総合家畜市場で行われ、畜産班で育てた子牛の「山斗（やまと）」を出荷しました。朝5時30分に子牛を積み、市場へ向かいました。約8カ月間飼育してきたので、少し寂しい気もしますが、新しい場所で元気に育ってくれることと思います。初めてせり市に行った利用者の藤本さんは「たくさんさんの牛がいて驚いた。朝早かったので辛かったけどせりが終わり山斗と別れて帰る時は寂しかったです。初めて行っていたいい勉強になりました。」と語っていました。

学習発表会

2月17日学習発表会が行われました。今年は「スカッと しせつ!」というテーマで発表しました。各作業班が、日中活動の中でスカッとする瞬間を劇や写真を通して紹介しました。「緊張する。」と言っていた利用者の方も、本番では大きな声でセリフを言うことが

できていました。終わった後は、練習の成果が発揮できたようで満足そうな表情をみせていました。



施設サービスアンケート調査結果 平成29年度

対象者（施設利用者41名、保護者20名 合計61名）

	満足	まあまあ満足	どちらでもない	いづれも満足	不満	無記入	合計
建具・設備に支障ありませんか	23	14	13	4	6	1	61
職員の態度はどうでしたか	18	25	8	4	4	2	61
職員の言葉づかいはどうでしたか	19	23	11	2	5	1	61
職員の支援技術は適切でしたか	25	16	13	2	3	2	61
職員の対応が早いと思われましたか	20	19	15	2	4	1	61
食事の内容はいかがでしたか	30	21	6	1	1	2	61
専門的な助言・援助が得られましたか	19	18	18	1	2	3	61
気兼ねなく相談ができましたか	25	17	10	4	1	4	61
期待通りのサービスになっていましたか	21	18	10	6	2	4	61
約束した支援が実行されていたか	26	17	10	3	0	5	61
非常時の対応などに不安はありませんか	20	21	13	1	2	4	61
必要な情報について伝達は適切でしたか	27	16	9	3	1	5	61
利用を継続したいと思われませんか	利用したい 45		分からない 14		無記入 2		61

編集後記

社会福祉法人健康の森学園では、ホームページを開設しています。法人の概要や提供しています福祉サービス、各行事や日常の様子（ブログ）を載せております。ブログは定期的に更新をしておりますのでご覧ください。また、各事業所ごとのパンフレットもご覧いただけます。トップページの福祉サービスの福祉サービス欄より閲覧できますので、是非ご覧ください。



ホームページアドレス
<http://fukukenmori.com>

利用者の声

「僕の夢」 原 大介

僕の将来の夢は、結婚して温かい家庭を持つことです。そのために仕事を頑張りたいです。グループホームでの生活も頑張って、いつか一人暮らしをしてみたいです。将来の夢のために、退所した後、一生懸命頑張っていきたいと思います。

学 習

情報・広報委員会では、学習の時間に健康の森学園を退所後、一般就労された2名の方に来ていただき、仕事やグループホームの生活について話をさせていただきました。

利用者みなさんは、先輩たちの話を静かに聞き、最後に「親孝行していますか?」「将来の夢は何ですか?」など手を挙げて質問していました。

終了後、「先輩たちのように働きたい。」「グループホームで生活してみたい。」と将来について目標を持つことができたようでした。

